

后義甫

題字は社宝伝崇徳天皇ご宸筆
勅額の文字を模したものです。



写真提供：松本健司氏

写真提供：森山純子氏



写真提供：森山純子氏

令和の御代を迎えて初めての例大祭は、例年にも増して大勢の氏子崇敬者に見守られながら始まりました。神幸祭のフィナーレを飾つた川入り神事は、いつものように遠近から向けられる群衆の熱い視線が集まる中を、紅く煌めく夕陽の水面に照り映ゆ美しい神輿渡御の後、今年も無事に本宮還御となりました。活気溢れる秋の祭礼運行も、これ偏に木藤清大祭委員長を始め年番大町地区の方々、鬼頭他関係各位、氏子の皆様方の当社への熱い思いの発露とご協力の賜と心より感謝申し上げます。

さて、秋の例大祭の興奮も冷めやらぬ十月二十二日、宮中に於かれましては、畏くも新帝陛下の即位礼が厳粛に且つ恙なく斎行されました。皇位につかれた天皇陛下がその御即位を国内外に宣明遊ばされたのです。賢所にて御即位のご報告をなされたときには、即位礼正殿の儀が執り行われる頃になると見事に上がり、高御座の御帳が曳げられるタイミングでは晴れ間さえのぞかせました。皇居上には神々しいまでの七色の虹が輝き、正に天津日嗣と高御座に坐すお姿に身が震えるような感動を覚えると共に深く胸に刻み込まれることとなりました。

この日は、当社においても即位礼当日祭を午後二時より斎行しました。また、夕刻には「天皇陛下のご即位をお祝いする西条地区行事実行委員会」主催の奉祝提灯行列が実施され、予想をはるかに超える凡そ一千名もの人々が、加茂川から当社まで往復を練り歩きました。更に社殿内においては夢華神楽社中が目出たき「弥栄えの舞」を奉納し、かようにも氏子崇敬者の皆様と共に天皇陛下の御即位をお祝い出来ましたことは洵に感慨深く、感謝の念に堪えません。

この日は、当社においても即位礼当日祭を午後二時より斎行しました。また、夕刻には「天皇陛下のご即位をお祝いする西条地区行事実行委員会」主催の奉祝提灯行列が実施され、予想をはるかに超える凡そ一千名もの人々が、加茂川から当社まで往復を練り歩きました。更に社殿内においては夢華神樂社中が自出たき「弥栄えの舞」を奉納し、かのように氏子尊敬者の皆様と共に天皇陛下の御即位をお祝い出来ましたことは洵に感慨深く、感謝の念に堪えません。

我々の祖先はこの世界の万物に御神威を感じ、悠久の昔から祭祀を行つてきました。そして天皇陛下を祭祀の頂点に戴いて人々の心は一つとなり、国が纏まりました。全国を代表した斎田（この度は、柄木県（京都府）から採れた新穀）が神饌として供され、各都道府県特産の農水産物が庭積机代物として供えられる事からもわかるように、大嘗祭は国を挙げての祭祀です。今を生きる私たちも国民の人として、令和の御大礼の惡なき事を、そしてまたこの新しき御代がさらにより良き時代となる事を感謝の気持ちを込めて祈りを捧げたいものです。

令和の新しい年も伊曾乃大神様の御加護のもと、氏子崇敬者各位のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。

例大祭奉納御神輿

年番(大町) 大祭委員長 木藤 清

今年は記念すべき令和元年の例大祭、加茂川の清流と雄大な石鎚山を望む麓にて伊曾乃神社秋季例大祭が晴天の下に滞りなく無事斎行することが出来ました。

御創祀一八八〇余年の大社は、御祭神に天照大

御神様を戴き、祭礼は日の出とともに始まり、

日の入りとともに結びとなることが出来ましたことは、氏子崇敬者の皆々様のご協力ご支援のお陰であり、衷心より深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

顧みますと、十五日の午前中は曇天の天候でありましたが、鬼頭を先頭にお道具持ちの南中学校の生徒と、大町校区の本肩により一旦の参道を肅々と昇き上げて御神輿の御立がなされ、一番神楽所である鳥居前での神楽所祭の後は台車を取り付け、神戸地区をほぼ予定どおり御巡幸致しました。

午後には大神様の御神慮の賜物であろう、秋空に虹が現れ絶好の祭り日和となり、この日は夕刻の御旅所着御に至る迄の二十ヶ所の神楽所を巡り、滞りなく神幸祭を執り行うことが出来ました。



最後に警察署、市役所関係、ご奉仕頂きました役員、所役の方々、鬼頭の皆々様、御神輿の本肩、南中学校の生徒の皆様、氏子崇敬者の皆様に感謝申し上げます。また来年も佳き例大祭であります様祈念し、大祭委員長としての挨拶に代えさせていただきます。

年番例大祭準備

大町地区の皆様により参道周辺の安全対策をはじめとする宮出し準備と、例大祭翌日の十七日には復旧作業をご奉仕頂き、さらに、境内のみならず御旅所は大町地区であることから、連年のとおり御旅所管理委員会の皆様とともに大町地区の皆様により準備を頂きました。



宮出し直後の清掃奉仕

今年も境内はゴミであふれかえっており、清掃

作業に終日時間を費やさなければならぬ状況となつてしましました。

徐々にではありますが、宮出し後に一部の昇夫の皆さんがこの問題を重く受け止めて境内の清掃活動にご協力を頂けるようになりました。



三、愛媛県外に出ているダンジリを訪ねる ⑤ 【その4】 担ぎダンジリ

いよ西条だんじり祭り編著者 村上 俊行

石川県鳳珠郡穴水町前波諸橋稻荷神社祭礼には「キリコ」と呼ぶ担ぎダンジリが出る。能登半島には奉灯とも呼んでいる大小多くのキリコが各地に出ている。二段の高欄、四本柱に水引幕お囃子は鉦太鼓で西条の担ぎだんじりとの共通点が多い。

新潟県新潟市秋葉区小須戸諏訪神社祭礼に出ているのは「灯籠」と呼ぶ担ぎダンジリである。太鼓とほら貝のお囃子で担いで運行し最後には壊れるまでぶつけ合う。この地方で見かけるダンジリである。

福島県伊達市水雲神社祭礼に出ているのは「山車」（やたい）と呼ぶ担ぎダンジリである。現在は補助様の車で引いているが、神社境内や夜の運行では担ぐ。高欄は無く唐破風の下にひさし様の屋根があり二重屋根である。台輪は立柱で立つ。お囃子は大太鼓と小太鼓二個鉦笛である。

広島県三次市甲奴町須佐神社祭礼には「屋形」と呼ぶ担ぎダンジリが出る。岡山県三次市甲奴町須佐神社祭礼には「屋形」と呼ぶ担ぎダンジリが出る。また、太鼓、獅子で一組になっている。水引幕の中には



穴水町の「キリコ」



新潟の「灯籠」



伊達の「山車」



三浦の担ぎ屋台

以上のように担ぎダンジリの出る祭礼は全国的に見て大変少ない。また造りも簡素で台数も少ない。造りも豪華で完成度の高い西条だんじりは全国屈指であり、氏子が身銭を切って自主的に参加し、祭礼の規模としても、全国の様々なダンジリの出る祭

礼も含めて、屈指の祭礼と言える。



三次の「屋形」

竹箒
東原 菅雜貨店様
神幸祭用真榾
新田 児玉 正俊 様
皆様からのご奉納、洵に有難うございました。



御旅所除草奉仕
御旅所管理委員会の皆様
神門前大楠注連縄奉製
神戸長寿会の皆様
例大祭前の清掃奉仕
大町福寿会、神拝神友会、
西條史談会、有志の皆様
神門前大提灯
玉津 矢野正建設工業株式会社様
中西 尾野建設工業株式会社様
奉納御礼

愛媛県神社庁表彰
鬼頭会長 一色信之殿
御奉仕
御禮



社頭点描

職場体験実習

七月八日から十二日の五日間、西条南中学校の二名が訪れ、神社の実務を体験しました。

事始式
八月三十一日、例大祭の議題と奉賛会の状況を報告すべく、氏子総代会を行いました。旧暦六月十五日にあたる七月十七日夕刻、断続的に降りしきる雨の中、恒例の夏越祭が執り行われました。



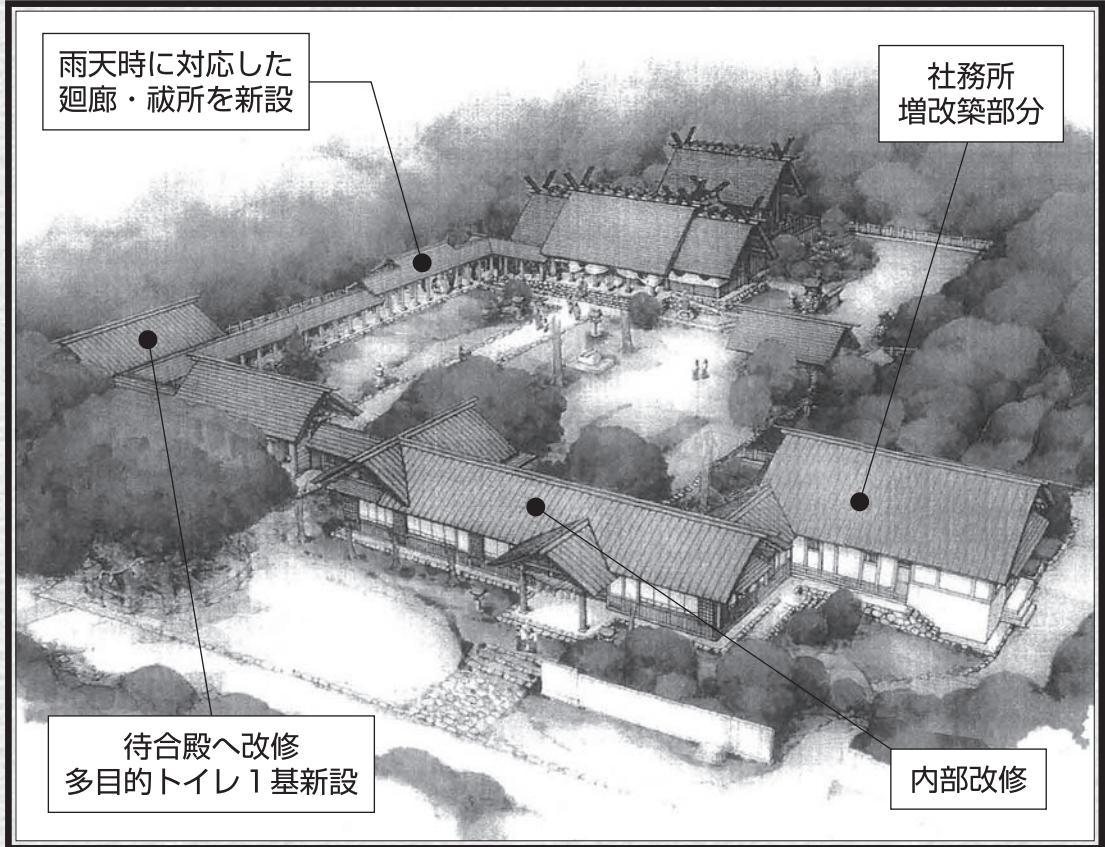
今上陛下の即位礼正殿の儀が斎行される十月二十二日、当社では午後二時より即位礼当日祭を執行し、午後五時からは当社の氏子崇敬者が発起人として組織した、天皇陛下のご即位をお祝いする西条地区行事実行委員会主催の夢華神楽社中による神樂舞の奉納と、凡そ一〇〇〇人の参加者が国旗小旗を携えての提灯行列が行われました。

台・みこしの関係者が一同に参列する中、例大祭の準備を告げました。会場では、台風十九号による甚大な被害を鑑み、急遽、提灯頒布協賛金の全額と実行委員会の運営費の一部を、西条市社会福祉協議会を通じて被災地への支捐金に充当することとし、広く参加者の皆さんにも募金活動を呼びかけ、奉祝ムードの中にも助け合いの真心の籠った善男善女で夜遅くまで境内は賑やかなものとなりました。



天皇陛下御即位奉祝行事

御創祀八八〇年(平成十九年)記念事業奉賛会について



待合殿・廻廊・社務所増改築完成予想図

平成二十六年より進めております当事業でございますが、主体工事である待合殿・廻廊建設、社務所増改築が竣工したことを受け、六月十九日に御神前での竣工奉告祭と、伊曾乃会館での落成式典を挙行致しました。

当初は、前回の奉賛事業に倣い、ご奉賛を賜りました方々にご案内させて頂き、会場を市内に設けて開催する予定ではありましたが、式典経費の大幅な削減を行う必要から、規模を縮小したかたちでの式典となつてしましました。

落成式につきましては、八月三十一日に行われた当社の秋季氏子総代総会において、一方ならぬご尽力を賜りました氏子総代に皆様に本旨をお伝えさせて頂くとともに、残す事業としては付帯工事等であり、全ての工事が完了後に決算報告を含む事業報告書を社報の特別号という形で発刊し、氏子崇敬者をはじめてご奉賛を賜りました皆様方にご報告を予定しておりますこともお知らせさせて頂きました。

なお、ご奉賛を賜りました氏子の皆様への記念品は、各町内の氏子総代様を通じてお渡し下さるようお願いをさせて頂いております。

また、奉賛会は事業報告までは継続しておりますので、念のため申し添えさせて頂きます。

今後も、ご理解とご協力を何卒、宜しくお願ひ申し上げます。

奉告祭現状報告書

神社の名譽宮司様、宮司様、西条分会の各宮司様など、約五十名のご参列を賜りました。

境内排水工事

台風をはじめとする大雨による降雨の際は、神門内の境内は排水の便が悪く、長年の課題でありました。

このたび、付帯工事の一つとして社務所前から宝物館前を経由する排水路の工事を行い、格段に排水能力が向上しました。皆様から賜りました貴重なご淨財で改築工事を行わせて頂きました社務所を長く維持させるために、大変有効な設備となつております。



裏面でもお知らせ致しております奉告祭を六月十九日、午前九時から執り行いました。祭典には、井上千賀司前宮司様をはじめ、愛媛県神社庁長 柳原宰様、愛媛県神社総代会長 曾根貞義様ほか、県下の別表



夏季の境内除草作業、例大祭前の境内の選定作業など、今回も定期的なご奉仕を頂くことができました。ここにご奉仕を賜りました方々のご芳名を記し、御礼とさせて頂きます。洵に有難うございました。

■奉仕作業者ご芳名

(順不同)

森 義志 様	伊藤 勇 様
浅田 秀隆 様	伊藤 道雄 様
井上 博司 様	



境内整備の状況

敬神婦人会通信

日頃、敬神婦人会に対しまして、氏子崇敬者の皆様より、常々ご支援・ご協力をいただきます事を、心より感謝申し上げます。皆様のご理解があつて活動ができますことを、心より感謝いたします。

本年は七月に伊曾乃神社敬神婦人会総会を開催いたしました。

総会では堀川宮司さんによる「御代替わり」の講演がありました。私たちの知らない初めて聞くようなお話をばかりで、これから続く即位に関する



御代替わりの行事のひとつである、即位礼正殿の儀にあわせ、十月二十二日に奉祝行事として提灯行列が行わされました。今回、敬神婦人会としてお手伝いをする事となり、参加者にお渡しする国旗小旗を敬神婦人会で作成いたしました。当日は天候もよく、参加した皆さんのが手にしている国旗は、自分たちが作成したと思うと、なんともいえない気持ちとなり、なかなか経験することのない慶事に協力できたことに感謝をいたしました。

令和という新しい御代が始まり、初心を忘れることなく、伊曾乃神社の大神様の為に、敬神婦人会の会員として活動をしていきたいと考えております。そして会員同士の交流や活動の活発化など、よりよい魅力的な敬神婦人会にしていきたいと考えております。会員同士の親睦を深め、これからも神社神道について、理解を深めていけたらと考えております。

これからも会長以下会員一同、宜しくお願ひいたします。

ご存知ですか 氏子区域の鎮守さま 兼務社紹介 その七

藤咲神社（ふじさきじんじゃ）

鎮座地 西条市藤之石一號六番地

御祭神 應神天皇

前号で掲載しました千町集落の高智神社よりさらに山あいに登つて行くと藤之石本郷集落となり、ほどなくして道路脇から鳥居がわずかにみえてきます。

創立年代は不詳ですが、古くから藤之石本郷の氏神様として祀られており、加茂地区の中では最も東に位置する神社であり、例祭日は高智神社と同じ十月第一日曜日に斎行されています。

境内の入口には狛犬と鳥居が設けられていますが、この脇に一枚岩の巨石がそびえており、地域の信仰の対象になっています。

また、同じ山の斜面にある千町集落には棚田が多く見られます。かつては、加茂地区の高原野石集落は棚田ではなく畑地が多く見られます。かつては、加茂地区の高原野菜の生産地として農業が盛んに行われていましたが、高齢化により耕作地は減少の一途をたどっています。

近年では広域林道が整備され、笹ヶ峰や丸野集落方面への林業従事者が行き交う、昭和の雰囲気を感じる長閑な集落です。



祭事曆

(令和元年十二月
令和二年五月)



祭典のごあんない

一月

二日 午前八時ころより

西条居合道会

居合術奉納

西条市無形文化財指定

居合術保存会

【三日 午前十時より】

荒川獅子舞保存会

獅子舞奉納



二月

[十一日 午前九時より]

〔十七日 午前十時より〕

開運春繁

【五日 午前九時より】

令和の御代となり、はじめて新年を迎えます。
新しい時代の年の初めも、変わることなく伊勢
の神宮大麻と氏神様である伊曾乃神社の神社大麻
を神棚にお祀りして、ご家族の平安をご家庭で見
守つて頂きましょう。

なお、各町内の氏子総代様を通じて頒布を行っ
ておりますが、社務所でも通年頒布しております。

神棚のおふだを 受けまじふう



・
神社大麻



・
神宮大麻

【令和2年の厄年(数え年)】

男 性	厄	25歳	平成8年生まれ	ねずみ
	前厄	41歳	昭和55年生まれ	さる
	本厄	42歳	昭和54年生まれ	ひつじ
	後厄	43歳	昭和53年生まれ	うま

女 性	厄	19歳	平成14年生まれ	うま
	前厄	32歳	平成元年(昭和64年)生まれ	へび
	本厄	33歳	昭和63年生まれ	たつ
	後厄	34歳	昭和62年生まれ	うさぎ
	厄	37歳	昭和59年生まれ	ねずみ

【令和2年 年賀表(数え年)】

男 女 共 通	還 暦	61歳	昭和35年生まれ	ねずみ
	古 希	70歳	昭和26年生まれ	うさぎ
	喜 寿	77歳	昭和19年生まれ	さる
	傘 寿	80歳	昭和16年生まれ	へび
	米 寿	88歳	昭和8年生まれ	とり
	卒 寿	90歳	昭和6年生まれ	ひつじ
	白 寿	99歳	大正11年生まれ	いぬ
	上 寿	100歳	大正10年生まれ	とり

厄除年賀祈禱

年間を通じて受け付けております。

新授与品の紹介

このたび、御旅所管理委員長が富山雅夫氏より
変更になりましたので、お知らせ致します。

伊藤博美氏

お知らせ
編集後記



■千支交通安全守り 初穂料 ハ〇〇円

絵馬の形をしたお守りの真ん中に、来年の千支であるネズミの根付があります。

吸盤がついているので、ネズミが可愛らしく揺れ、みんなさんの交通安全をお守りします。 ピンク・水色の二種類になります。



■紅葉の幸せ彩り守り ■さくらの幸せ満開守り 初穂料 (各)ハ〇〇円

春の桜と秋の紅葉。日本人が季節感を感じる植物だと思います。

桜と紅葉の美しい彩りを、ステンドグラスで表

現しました。

お受けになつた方が、美しく幸せ満開に彩られますように願いを込めたお守りです。

そして翌月十四日は宮中での大嘗祭の斎行です。天皇陛下に御即位あそばされ、はじめて斎行されます新嘗祭が大嘗祭であり、一世一代の祭儀とされています。先の即位礼正殿義よりはじめて大嘗祭までを「御大典」、「御大礼」と称し、国内で様々な奉祝行事や記念行事が行われます。私たち国民一人一人が、世界に類を見ない歴史と伝統を持つ我が国に誇りと、助け合いの精神をもつて令和の新時代も歩んでいかなければなりません。

天皇陛下に御即位あそばされ、はじめて斎行されます新嘗祭が大嘗祭であり、一世一代の祭儀とされています。先の即位礼正殿義よりはじめて大嘗祭までを「御大典」、「御大礼」と称し、国内で様々な奉祝行事や記念行事が行われます。私たち国民一人一人が、世界に類を見ない歴史と伝統を持つ我が国に誇りと、助け合いの精神をもつて令和の新時代も歩んでいかなければなりません。

令和の新時代を迎える、例年になく祝賀の雰囲気が漂う中での例大祭となつた本年は、大町地区を年番として大祭委員長木藤清様を中心に早くから準備に取り組んで戴き、恙無く斎行することが出来ました。ご尽力を賜りました大町地区氏子総代の皆様をはじめ、関係各位に厚く御礼を申し上げます。洵に有難うございました。

さらに、翌週二十二日は、天皇陛下の御即位を国内外に知らしめす「即位礼正殿の儀」が斎行される佳日となり、凡そ千人が国旗小旗を掲げての萬歳三唱と国歌齊唱、提灯行列が賑々しく行われ、例大祭の再来かと思わんばかりの盛況ぶりがありました。

このたび、御旅所管理委員長が富山雅夫氏より変更になりましたので、お知らせ致します。

伊藤博美氏

発行

伊曾乃神社社務所

〒793-0054 西条市中野甲一六四九

電話 ○八九七・五五・二二四二

FAX ○八九七・五六・四七六一
http://www.isonojinja.or.jp/

(高)